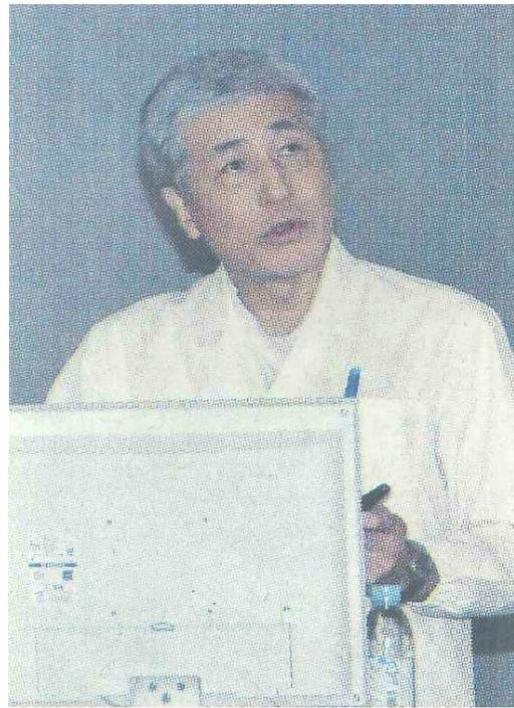


急患の症例紹介

室蘭製鉄病院でセミナー

製鉄記念室蘭病院（前田征洋病院長）の「第29回市民健康セミナー」が15日、室蘭市知利別町で開かれ、市民らは頭痛、

や胸痛、腹痛、熱中症など「救急搬送が必要となる疾患や症状」について理解を深めた。



救急搬送を要する疾患などについて解説する大谷副院長

部長、ICU・救急室長）が、転倒による頭部外傷や熱中症、もちなどによる窒息、入浴中の溺水、心臓突然死などの特徴を解説した。

「胸や背中の激しい痛み」や「みぞおちなど腹部の激しい痛み」「激しい頭痛」などの「痛みが持続するもの」や「意識が混濁するような熱中症」は命に関わってくる症状として「ためらわずに救急車を呼んでほしい」「子どもは、呼吸の状態も注意して」などと強調。市民らは熱心に耳を傾けていた。

（松岡秀宜）